

② 「内科治療抵抗例」のデータベース化

内科治療症例
(対象予定：500～1000例)

%TWLが5～10%未満
あるいは
併存疾患の改善が得られない症例



「内科治療抵抗例」の抽出

外科治療を
検討すべき症例

* 施行済み

「術後体重減少不良症例」
の二次調査

① 「肥満外科術後体重減少不良症例」の病態解明

(対象：20症例)

③ 日本人肥満2型糖尿病患者における肥満外科手術の有効性や適応の調査

外科治療症例
(対象：369例)

糖尿病教育認定施設を対象とした
「糖尿病専門医が肥満外科治療を
検討する患者像」に関する
アンケート調査

外科症例のデータベース
を用いて糖尿病治療への
有効性や限界を検討

%TWL15%未満
「術後体重減少不良症例」

- ・糖尿病などの改善度が悪い
- ・術前の摂取エネルギーが高い
- ・精神疾患や知的障害が多い

手術症例の6～7%存在
(患者数は1万人前後か)

- ・遺伝的背景 (家系調査、遺伝子解析：単一遺伝子、SNP解析)
- ・胎児環境 (DOHaD仮説、胎児期)
- ・より細な成育歴 (食行動の習慣化プロセスへの影響)
- ・現在の生活環境および生活習慣の調査
- ・精神疾患、知的な問題
- ・腸内細菌

「食欲中枢異常による難治性高度肥満症」
の病態解明、集学的治療の開発へ。

内科系調査
(データベース、アンケート調査)

外科系調査
(データベース)

小児科・メンタル・統計疫学
の専門家を加えての病態解明

継続研究内容の流れ図

日本人肥満2型糖尿病患者に対する肥満外科手術の有効性や適応についても診療ガイドラインの作成を目指す。

「食欲中枢異常による難治性高度肥満症」の診断基準を含め診療ガイドラインの作成を行う。